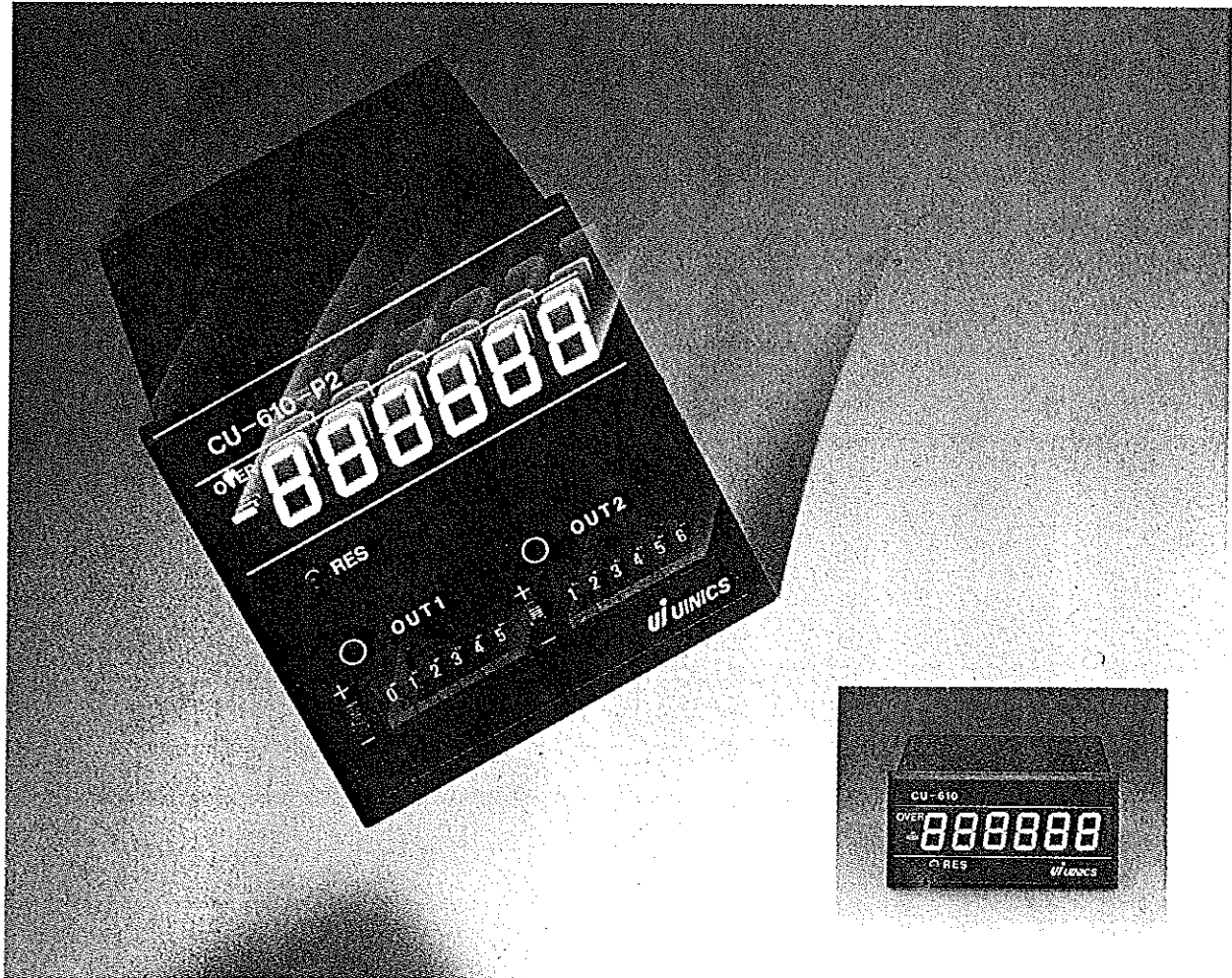


UINICS CO.,LTD.



# リバーシブル マルチ高速カウンタ



## 取扱説明書

このたびは弊社商品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用いただく前にこの説明書を御一読され、正しくお使い頂く様お願い申し上げます。  
本器はマイクロコンピュータ内蔵の換算機能付きのカウンターです。換算機能により、広範囲の応用が可能となります。

ユーアイニクス株式会社

# CU-610シリーズについて

CU-610シリーズ(マルチカウンター)は、通常のカウンター機能に乗算機能が追加されたものです。この機能により測長計、積算流量計や仕上り個数の計測など広い範囲に使用が可能です。CU-610シリーズには、CU-610(表示のみタイプ)とCU-610-P2(リレー出力)、CU-610-B(BCDコード出力)、CU-610-P2-B(リレー出力及びBCDコード出力)の4タイプがあります。用途に合わせてお選び下さい。

## 表示について

CU-610シリーズは6桁のカウンターで6桁をこえる数字表示の場合は、オーバーフロー表示燈が点燈し“999999”よりオーバーしますとオーバーランプが点燈し000001より、又は999999迄加算します。また、ダウンカウント時“0”より小さな値になるときは、マイナス符号表示燈が点燈し、「2→1→0→-1→-2」の様にマイナス表示で表わします。

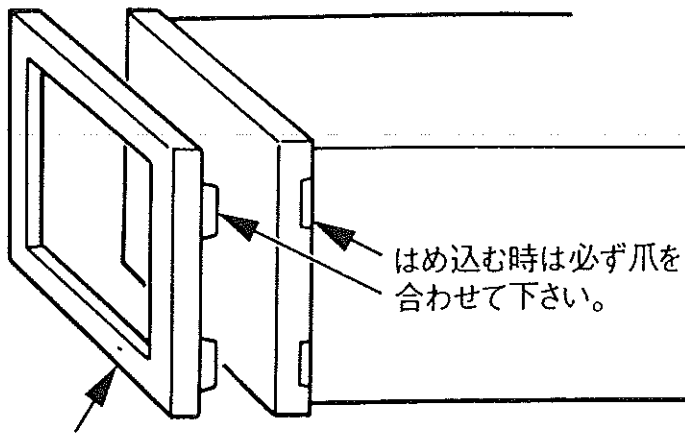
## 目次

ページ

パネルのはずしかた	1
取付方法	1
各部名称	2
各部の機能説明	3
CU-610設定順序	4~5
倍率の設定方法	6
ディップスイッチの設定方法	7~8
入力モードの設定方法	9~10
出力モードの設定方法(CU-610-P2のみ)	11~15
BCD出力について(CU-610-Bのみ)	16~18
端子接続図	19
センサ入力端子について	20
お取り扱い上のご注意	21

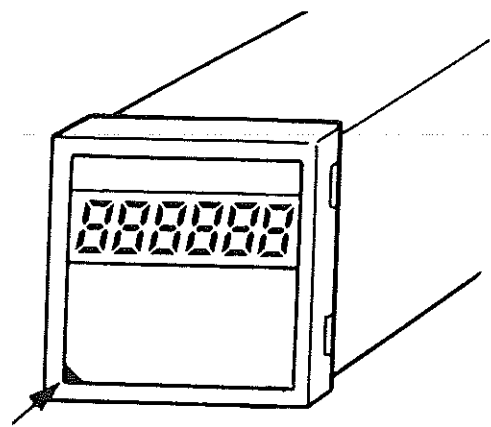
# 1 パネルのはずしかた

## 手順①



前面枠を外します。

## 手順②

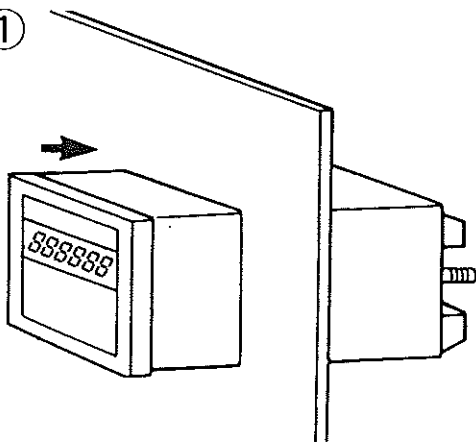


左下コーナーの穴よりドライバーでパネルを外して下さい。

# 2 取付方法

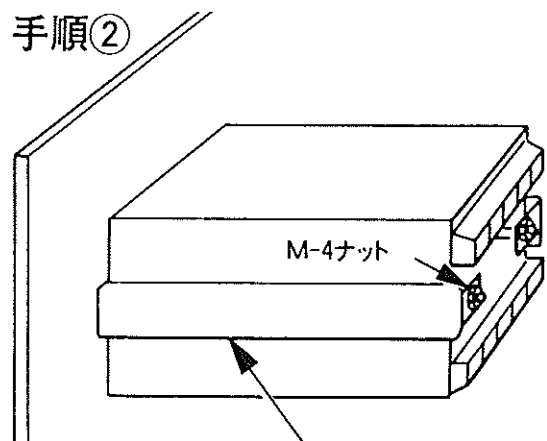
CU-610-P2(96×96サイズ)

## 手順①



パネルカットして前面から挿入します。

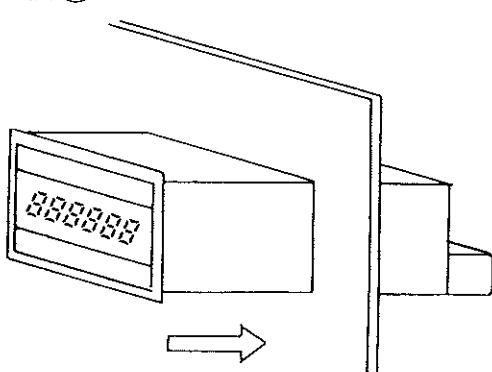
## 手順②



背面より取付金具2個でしっかり押えて、ワッシャとM-4ナットで締め付けて下さい。

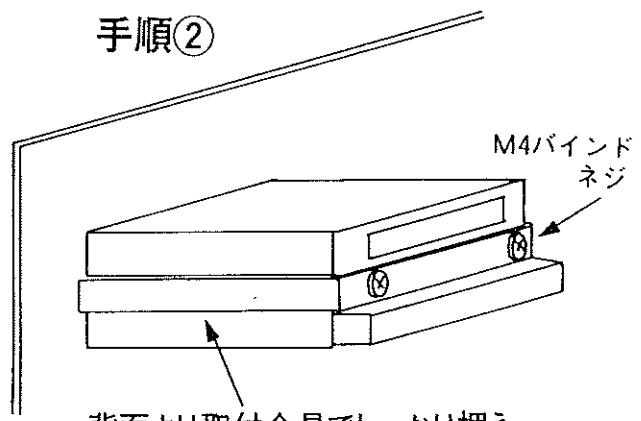
CU-610-(96×48ハーフサイズ)

## 手順①



パネルカット(45×92)して前面から挿入します。

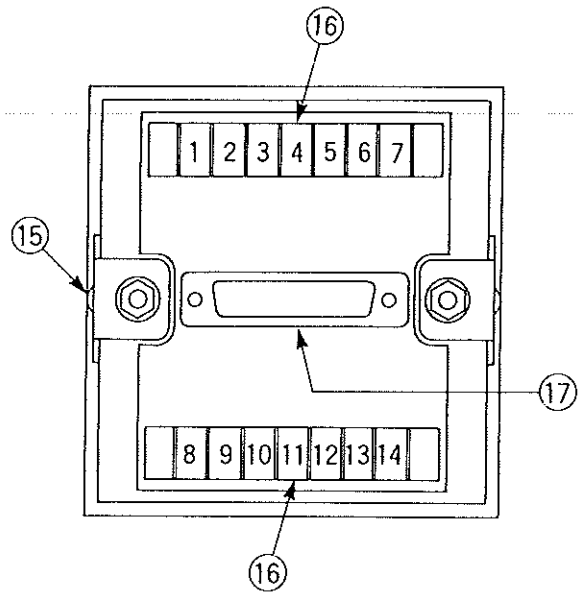
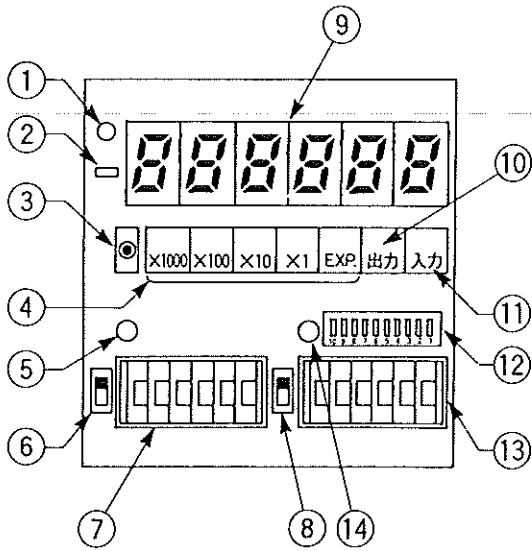
## 手順②



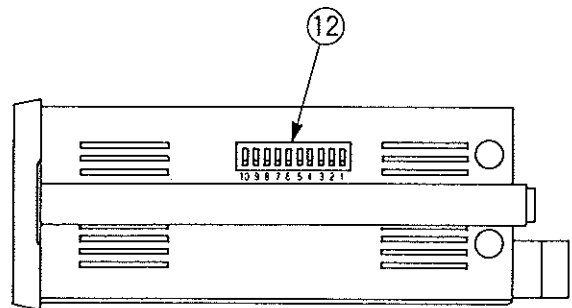
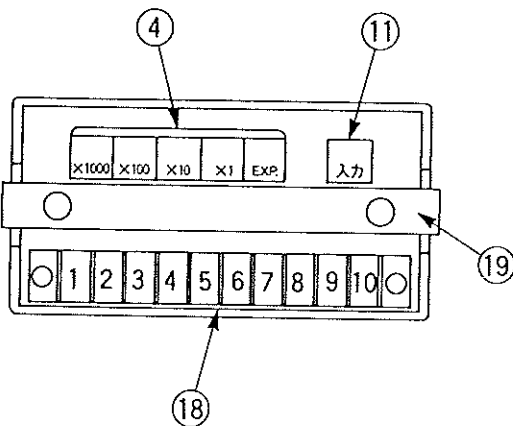
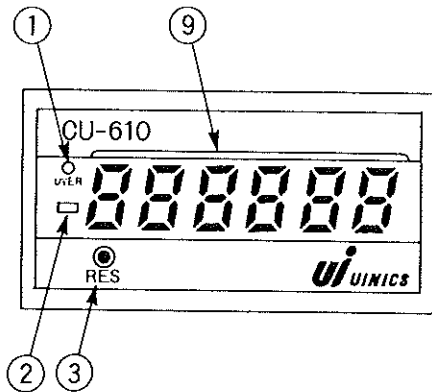
背面より取付金具でしっかり押えて、ワッシャとM4バインドネジで締め付けて下さい。

### 3 各部名称

CU-610-P2(96×96サイズ)



CU-610-(96×48ハーフサイズ)

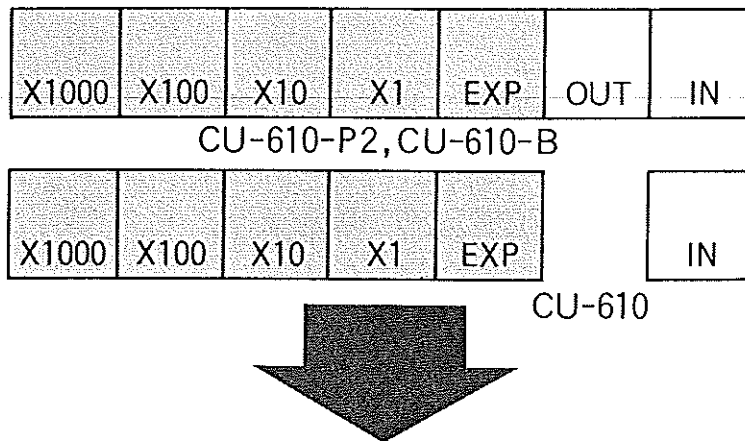


## 4 各部の機能説明

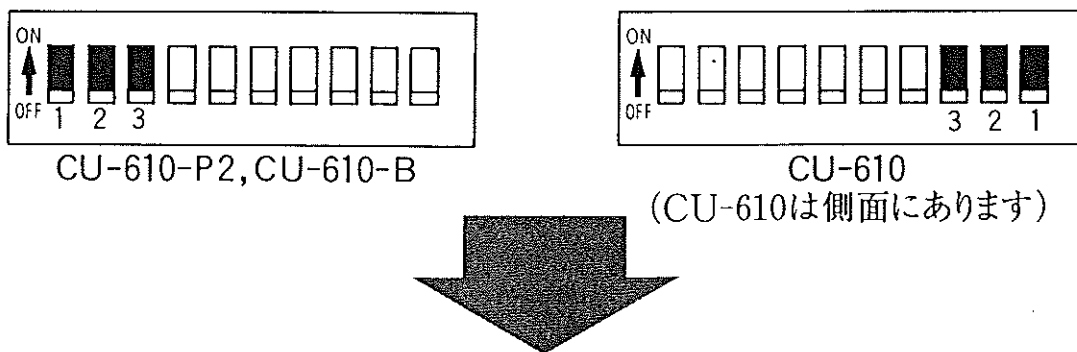
①	オーバフロー表示燈	カウント表示が6桁を越えた場合点燈します。(内部カウンターは小数点以上11桁、小数点以下9桁となっています。)	———
②	マイナス符号表示燈	表示が“0”以下で減算カウントした場合点燈します。	———
③	リセットスイッチ	表示を“0”に戻し、各種の設定スイッチの状態を読みこみます。 OUT1、OUT2のリレー出力を解除します。	➡P.6
④	換算スイッチ	整数部4桁、指数部1桁からなり1pulse当りの加算又は減算数を設定します。設定範囲は9999~ $1 \times 10^{-9}$ です。	➡P.6
⑤	OUT1出力表示燈	OUT1のリレー出力に同期して点滅します。(リレー出力時点燈。)	———
⑥	OUT1極性設定スイッチ	上側で“+”、下側で“-”の極性の設定となります。 ⑦のOUT1設定デジタルスイッチと合わせて設定下さい。	➡P.11
⑦	OUT1設定デジタルスイッチ	OUT1のプリセット値を設定するスイッチです。設定した値は、表示値の小数点を無視した値と大小を比較します。	➡P.11
⑧	OUT2極性設定スイッチ	上側で“+”、下側で“-”の極性の設定となります。 ⑬のOUT2設定デジタルスイッチと合わせて設定下さい。	➡P.11
⑨	6桁、LEDディスプレイ	文字高15.2mm、赤色の7セグメントLEDディスプレイで桁数は6桁です。	———
⑩	出力モード切換えスイッチ	リレー出力OUT1、OUT2の7種類の出力動作の切換えスイッチです。	➡P.11
⑪	入力モード切換えスイッチ	センサー入力の、5種類の入力動作を切換えるスイッチです。	➡P.9
⑫	モード切換えDipスイッチ	小数点、電源リセット、センサー入力の応答周波数切換えを行うスイッチです。	➡P.7~8
⑬	OUT2設定デジタルスイッチ	OUT2のプリセット値を設定するデジタルスイッチです。設定した値は、表示値の小数点を無視した値と大小比較します。	➡P.11
⑭	OUT2出力表示燈	OUT2のリレー出力に同期して点滅します。 (リレー出力時に点燈。)	———
⑮	取付け金具	パネルにマウントするための取付け金具です。 (CU-610-P2、CU-610-B)	➡P.1
⑯	入出力端子台	7.62mpichで7端子の端子台です。 (CU-610-P2、CU-610-B)	➡P.19
⑰	BCD出力コネクタ	25pinのD-Subコネクタで、オープンコレクターのBCD信号が出力されます。 (CU-610-B)	➡P.16
⑱	入出力端子台	7.62mpichで10端子の端子台です。 (CU-610)	➡P.19
⑲	取付け金具	パネルにマウントするための取付け金具です。 (CU-610)	➡P.1

## 5 CU-610シリーズ設定順序

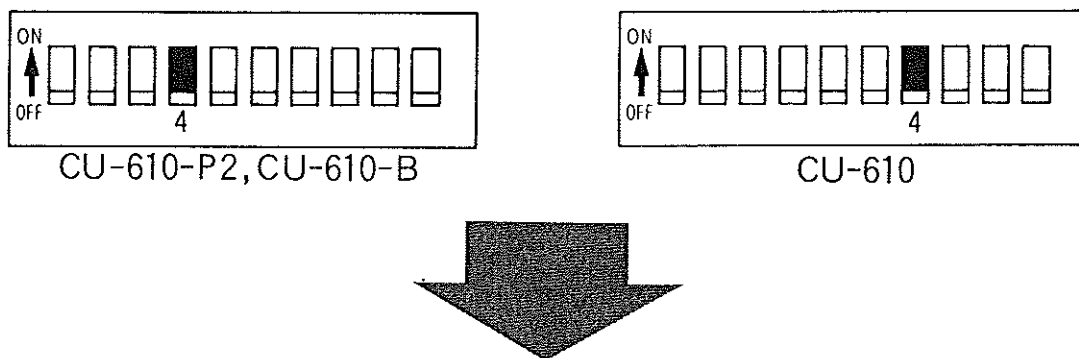
■換算スイッチとEXPスイッチにより倍率を設定します。



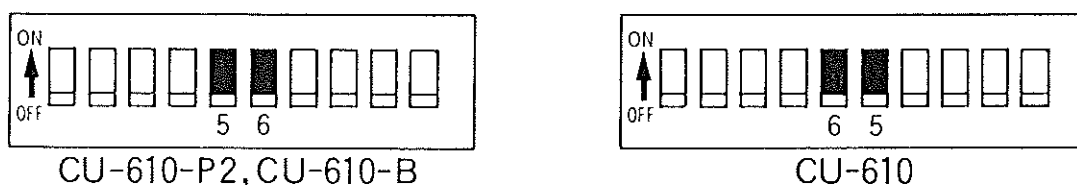
■DIPスイッチNo.1～No.3で小数点設定を行います。



■DIPスイッチNo.4で電源リセットと停電補償のモード選択を行います。

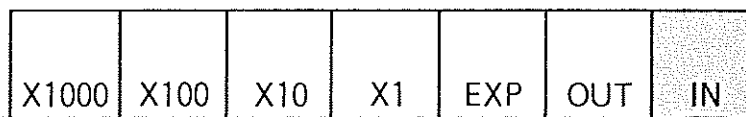


■DIPスイッチNo.5、No.6で応答周波数の切換えを行います。

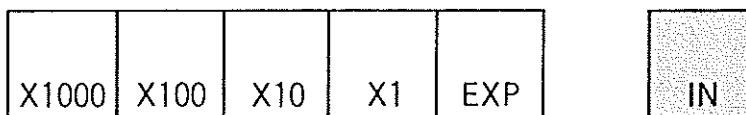


DIPスイッチNo.7.8.9.10は使用しません。

■入力モードスイッチを設定します。



(CU-610-P2入力モードスイッチ)

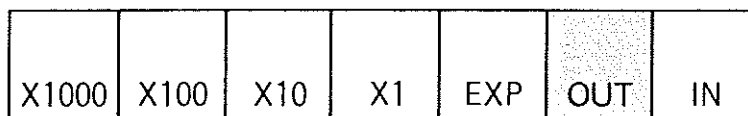


(CU-610裏面) (CU-610-P2のみ)



## CU-610-P2のみ

■出力モードスイッチを設定し、7種類のリレー出力のうち1つを選んで下さい。



出力モードスイッチ



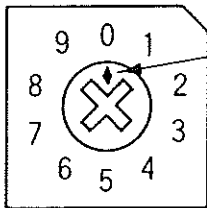
## CU-610-P2 Bシリーズのみ

■BCD出力の項をお読みになり、データ出力の結線を行って下さい。



換算スイッチ、DIPスイッチ、入出力モードスイッチを設定した後は、必ず①リセットスイッチを押す。②端子台のリセット入力とGNDを短絡する。③電源を再投入する。①～③のいずれかのリセット動作を行って下さい。リセット動作を行わないと、前回の設定状態で動作を継続します。

背面端子の結線 **P19** を行い、先に紹介したパネルのはずしかた、取付方法に従ってマウントして下さい。



白点マーク

### ■設定スイッチのあわせ方

設定スイッチの白マーク又は矢印マークの示すNo.が、設定するNoとなります。  
スイッチに合ったプラス、又はマイナスのドライバーにより変更を行ってください。

### ■零リレー出力について

CU-610シリーズには、オプションとして表示が“0”になった時点より0.5秒間リレー出力する零リレー出力があります。

(1a接点 MAX AC250V(DC30V)1A)

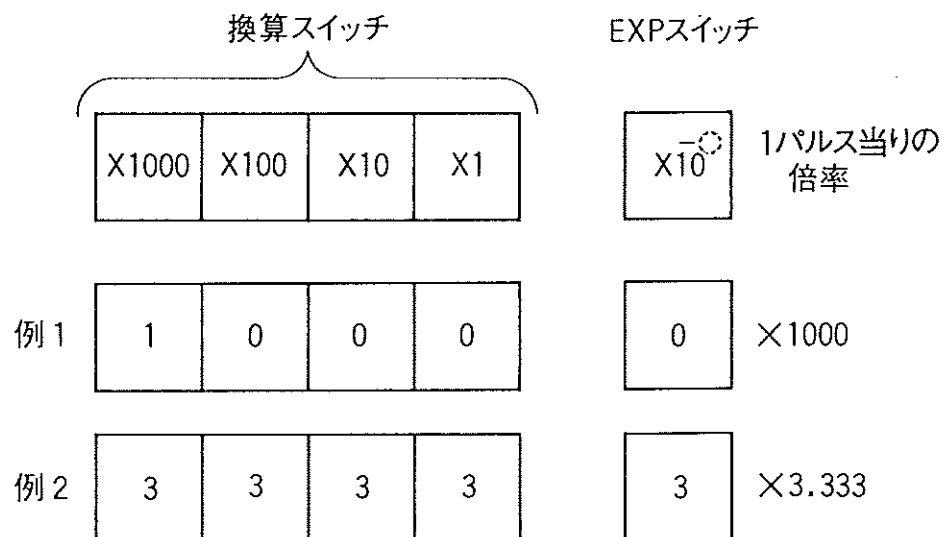
### ■リセット動作について

①リセットスイッチを押す。②端子台のリセット入力とGNDを短絡する。この2つの動作を行うと、カウンターの表示を“0”に戻し、換算スイッチ、DIPスイッチ入出力モードのデータを読み込みます。

③電源を再投入する。この動作のときDIPスイッチの4番が“ON”のときは上記2つと同じ動作を行い、“OFF”のときは、カウンター表示は変わらず、換算スイッチ、DIPスイッチ、入出力モードのデータを読み込みます。

## 6 倍率の設定方法

換算スイッチとEXPスイッチにより、1パルス入力当りの倍率が設定できます。  
(EXPスイッチは指数部 $\times 10^{-\circ}$ を表わしています。)



設定が終了したら、必ずリセット動作を行って下さい。  
設定しましたら、DIPスイッチの設定を行って下さい。



## 7 デイップスイッチの設定方法

### ■ 小数点切換スイッチ

#### DIPスイッチ No.1～No.3

DIPスイッチNo.1からNo.3を切換えることにより、小数点位置の設定ができます。

DIPスイッチ	表 示	操作方法	小数点桁
 (CU-610-P2, CU-610-B)  (CU-610)		全てOFF	小数点なし
 		No.1のみON	3桁目小数点
 		No.2のみON	2桁目小数点
 		No.3のみON	1桁目小数点

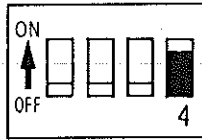


設定が終了したら、必ずリセット動作を行って下さい。同時に2つ以上のスイッチをONすると、表示6桁目にエラー表示が点滅します。正しい設定を行い、リセット動作を行って下さい。設定しましたらDIPスイッチ(次頁)の設定を行なって下さい。

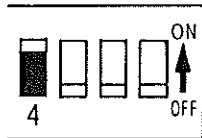
## 8 ディップスイッチの設定方法

### ■電源リセット・停電保証切換スイッチ

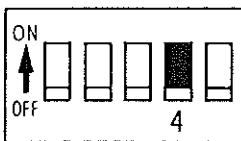
#### DIPスイッチNo.4



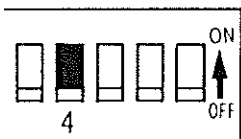
- No.4 ONで電源リセット動作機能になります。  
表示は、電源を投入した時点で“0”となります。



(←CU-610)



- No.4 OFFでバッテリーバックアップ機能になります。  
表示は、電源がOFFする直前の値を表示しますが、小数点切換えスイッチを変更して、電源を再投入しますと、変更された小数点の位置に合わせて、表示値がシフトされ表示されます。

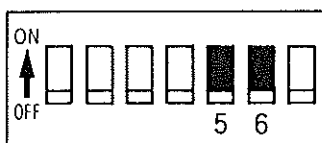


(←CU-610)

設定しましたらDIPスイッチNo.5、6の設定をして下さい(下の項)

### ■応答周波数切換スイッチ

#### DIPスイッチNo.5、No.6



A入力、B入力のチャタリング、ノイズ防止のため応答周波数を切換えます。(A入力、B入力は独立して切換えて下さい。)

No.5、No.6スイッチ共

ONで 50Hz MAX

OFFで 10KHz MAX (但し90°位相差入力は3KHz MAX)

No.5スイッチ …… A入力切換え

No.6スイッチ …… B入力切換え

設定が終了しましたら、必ずリセット動作を行なって下さい。これでDIPスイッチの設定は終わりです。続いて入力モードの設定を行なって下さい。(次頁)

CU-610シリーズではDIPスイッチNo.7~10は使用しません。

## 9 入力モードスイッチの設定方法

X1000	X100	X10	X1	EXP	OUT	IN
-------	------	-----	----	-----	-----	----

CU-610-P2  
CU-610-B

X1000	X100	X10	X1	EXP	IN
-------	------	-----	----	-----	----

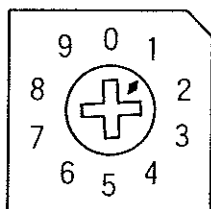
CU-610

■入力モードスイッチは以下の5通りのモード選択を行うことができます。  
測定環境の状態にあわせてお選び下さい。

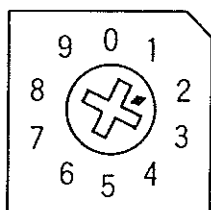
入力モードスイッチ "1"	加算のみ
入力モードスイッチ "2"	減算のみ
入力モードスイッチ "3"	加減算モードA (90°位相差入力)
入力モードスイッチ "4"	加減算モードB (加減算信号とパルス入力)
入力モードスイッチ "5"	加減算モードC (加減算パルス入力)

### ご注意

モードはリセット動作を行うと切り替えます。  
このときスイッチが、"0", "6"~"9"の場合は、エラー表示として6桁目に"E"を表示しフラッシングします。



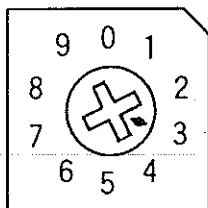
- 入力モード"1" 加算動作  
A入力にパルスを入力して下さい。  
加算動作のみ行います。



- 入力モード"2" 減算動作  
A入力にパルスを入力して下さい。  
減算動作のみ行います。

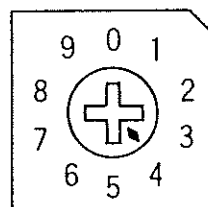
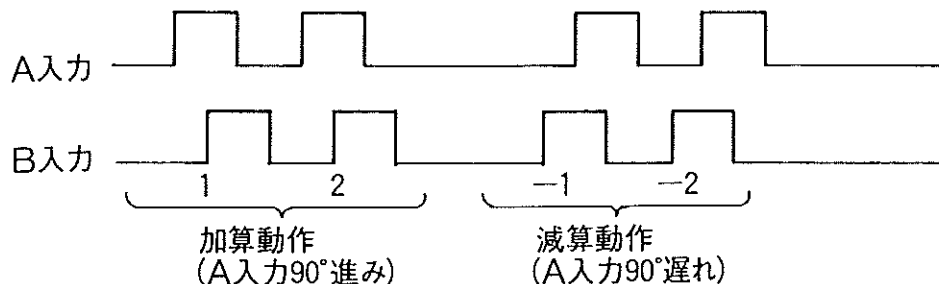


# 入力モードスイッチの設定方法



## ● 入力モード“3” 加減算動作(90度位相差入力)

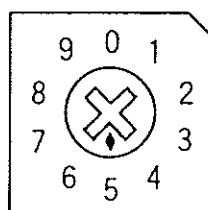
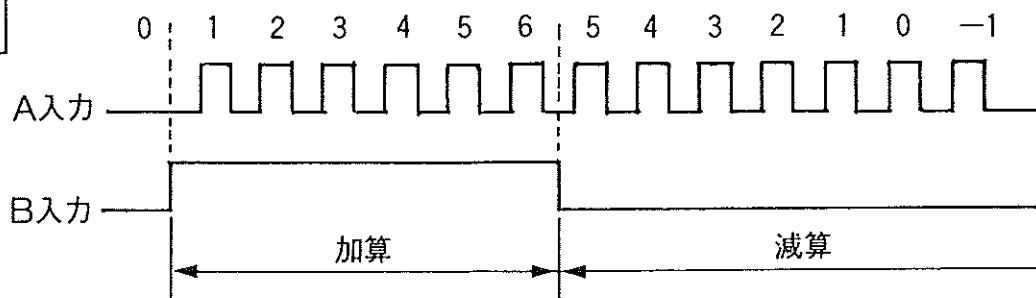
A入力、B入力に90°位相差のpulse入力(ロータリエンコーダ等)を入れ、位相の進み、遅れにより加減算を行う場合の設定です。



## ● 入力モード“4” 加減算動作(入力パルス及び加減算信号)

○B入力に加減算信号を入力して下さい。

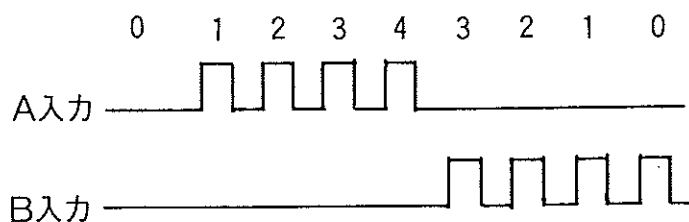
○A入力にカウント用パルス信号を入力して下さい。



## ● 入力モード“5” 加減算動作(加算パルス又は減算パルス)

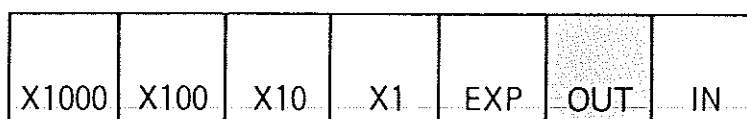
○A入力に加算用パルス入力して下さい。

○B入力に減算用パルス入力して下さい。



設定が завершиましたら、必ずリセット動作を行なって下さい。入力モードスイッチが“0”と“6”~“9”の場合は表示6桁目にE(エラー)表示が点滅します。正しい設定を行ない、リセット動作を行なって下さい。CU-610はこれで設定は終わりです。(P.19から続けてお読み下さい)。CU-610-P2は続いて出力モードの(次頁)の設定を行って下さい。

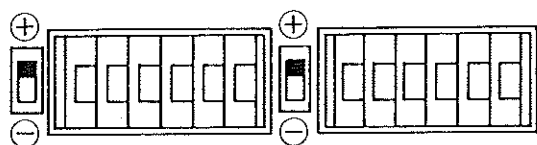
## 10 出力モードの設定方法 (CU-610-P2のみ)



出力モードスイッチ

■出力モードスイッチを1～7に合わせることで7種類のリレー出力を選択できます。測定環境の状態にあわせてお選び下さい。

出力モードスイッチ`1`	比較出力モード
出力モードスイッチ`2`	自己保持モード
出力モードスイッチ`3`	ワンショット出力モード
出力モードスイッチ`4`	ワンショット`0`復帰モード
出力モードスイッチ`5`	自己保持`0`復帰モード
出力モードスイッチ`6`	ワンショットプリセットモード
出力モードスイッチ`7`	自己保持プリセットモード

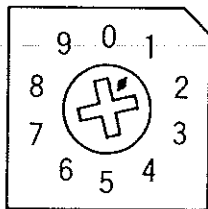


●出力モード1、2は、極性(±)をOUT1、OUT2で自由に設定可能ですが、出力モード3～7は必ず同一極性で御使用下さい。

- プリセット値と表示値の比較は小数点に関係なく、数値のみを比較し判別します。但し、オーバーフロー表示が点灯したときは、表示値が7桁以上あると判断し、処理します。
- リセット入力により、リレー出力は解除され、表示は`0`に戻ります。
- OUT1、OUT2のリレー出力以外に、オプションとして表示が`0`になった時点より、0.5秒間リレー出力するゼロリレー出力付があります。

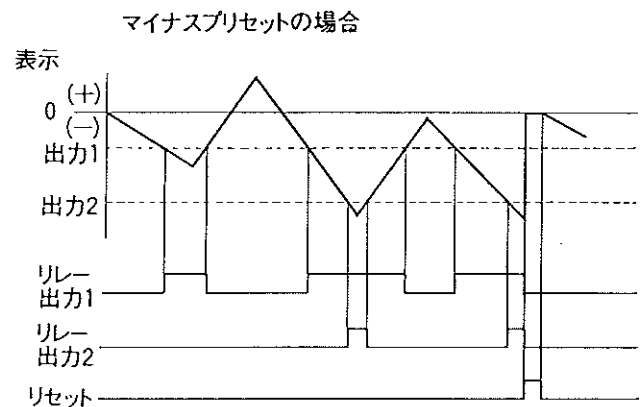
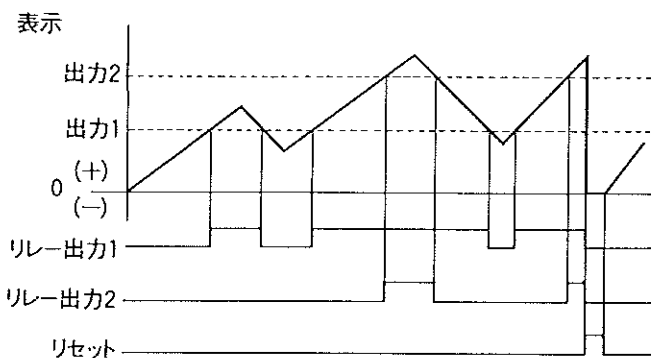
# 出力モードの設定方法 (CU-610-P2のみ)

## ■比較出力モード

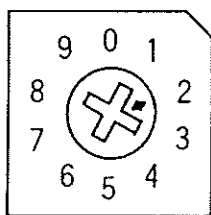


DIPスイッチを“1”に合わせます。

- リレー出力1、2とも表示値がプリセット値と同じか、上回っている間(マイナスで、プリセットされている場合は同じか下回っている間)、出力されます。

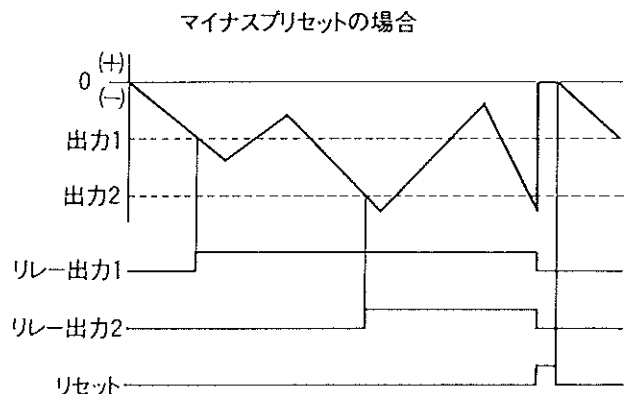
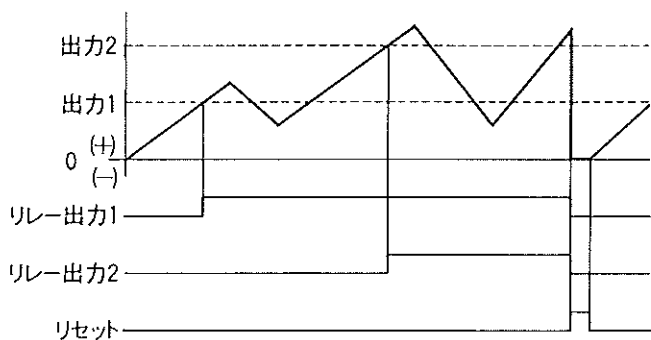


## ■自己保持モード



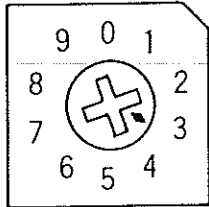
DIPスイッチを“2”に合わせます。

- リレー出力1、2とも表示値が、プリセット値と同じか、上回った場合(マイナスでプリセットされている場合は同じか、下回った場合)、リレー出力され、出力はリセット入力が有るまで保持されます。



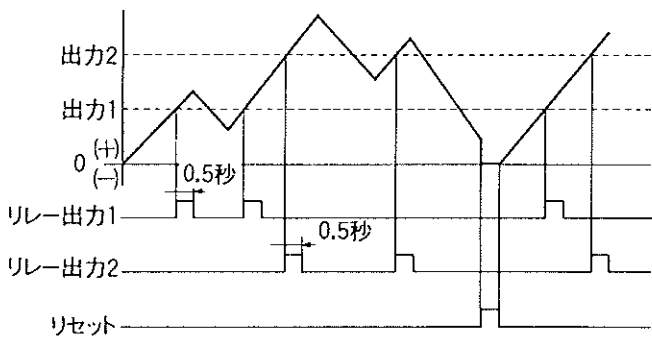
# 出力モードの設定方法 (CU-610-P2のみ)

## ■ワンショット出力モード

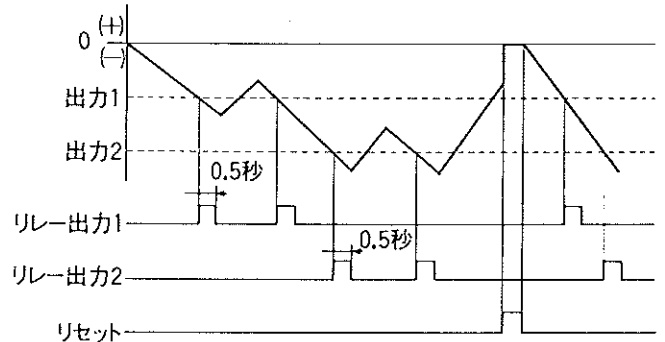


DIPスイッチを“3”に合わせます。

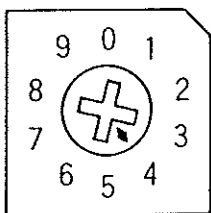
- リレー出力1、2とも表示値がプリセット値以上になるとき(マイナスで、プリセットされているときは、以下になるとき)、同じ値になった時点より0.5秒間出力されます。



マイナスプリセットの場合

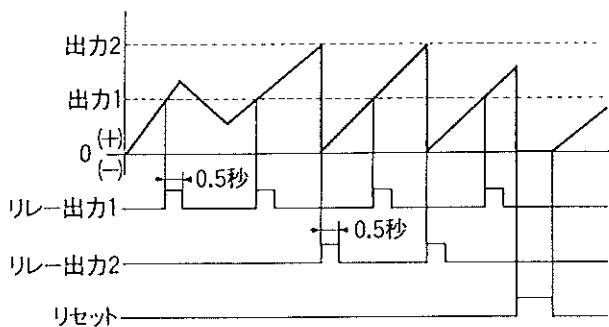


## ■ワンショット“0”復帰モード

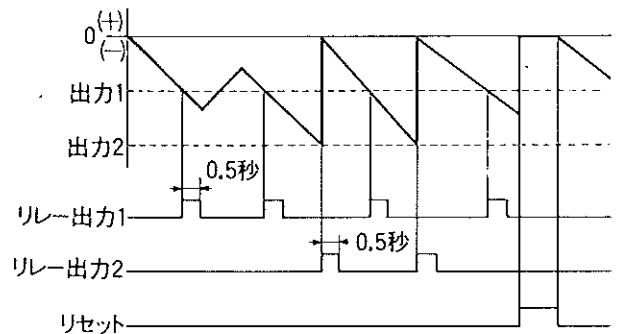


DIPスイッチを“4”に合わせます。

- 基本動作は、③ワンショット出力モードと同じであるが、リレー出力2を出力すると同時に表示と内部カウンターを“0”に戻し、次の入力パルスよりカウントを始めます。

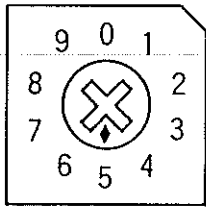


マイナスプリセットの場合



# 出力モードの設定方法 (CU-610-P2のみ)

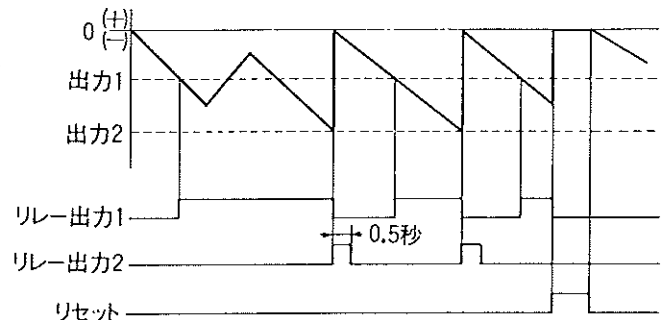
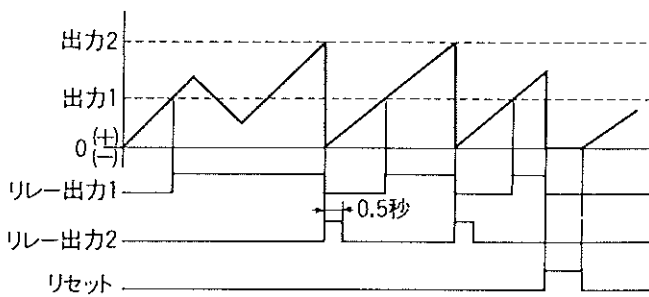
## ■自己保持“0”復帰モード



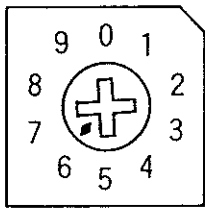
DIPスイッチを“5”に合わせます。

- リレー出力1は、表示値がプリセット値と同じか上回った場合 (マイナスでプリセットされている場合は同じか、下回った場合)出力し、保持します。(リレー出力2が出力された時点で、リレー出力1は解除)
- リレー出力2は表示値が、プリセット値と同じか上回った場合 (マイナスでプリセットされている場合は同じか、下回った場合)0.5秒出力し、同時に表示と内部カウンターを“0”に戻し、次の入力パルスより計測を始めます。
- リレー出力1は自己保持動作、出力2はワンショット“0”復帰動作と同じ動作をします。

マイナスプリセットの場合



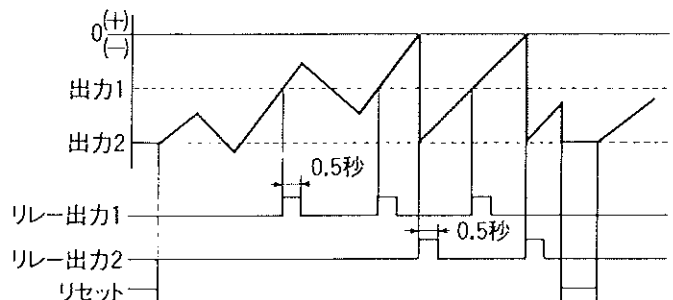
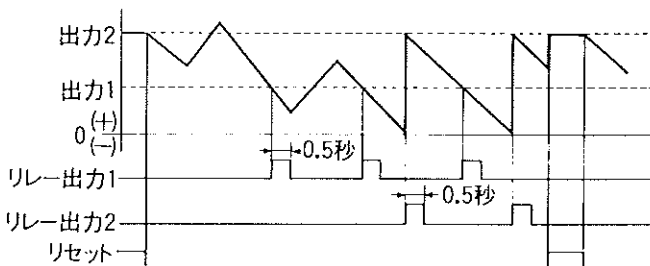
## ■ワンショットプリセットモード



DIPスイッチを“6”に合わせます。

- リセット動作時に、表示と内部カウンターに出力2の数値がプリセットされます。
- リレー出力1は、表示値とプリセット値が同じか下回ったとき、(マイナスでプリセットされている場合は、同じか上回った場合)0.5秒出力します。
- リレー出力2は、表示値が“0”以下(又は以上)になった場合、0.5秒出力し、表示と内部カウンターに出力2の数値をプリセットし、次の入力パルスより計測を行います。

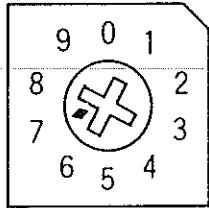
マイナスプリセットの場合





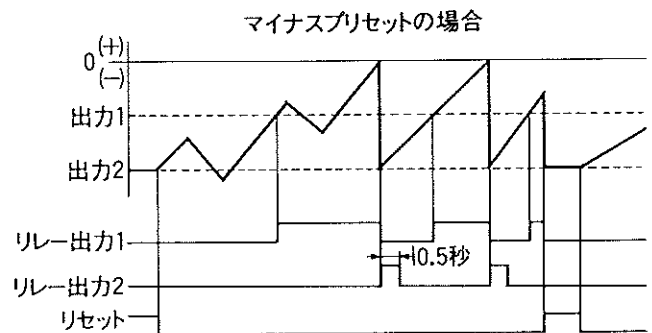
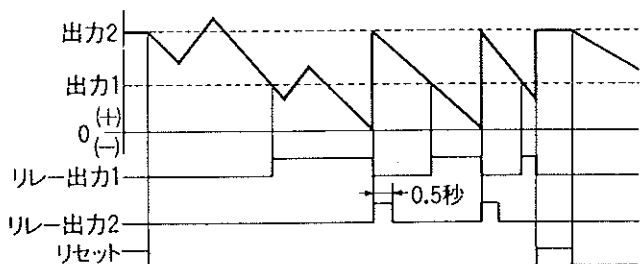
# 出力モードの設定方法 (CU-610-P2のみ)

## ■自己保持プリセットモード



DIPスイッチを“7”に合わせます。

- プリセット・ワンショットモードでリレー出力1が自己保持動作を行うモードです。
- リセット動作時に、表示と内部カウンターに出力2の数値がプリセットされます。
- リレー出力1は、表示値がプリセット値と同じか上回った場合(マイナスでプリセットされている場合は同じか、下回った場合)出力し、保持します。(リレー出力2が出力された時点で、リレー出力1は解除)
- リレー出力2は、表示値が“0”以下(又は以上)になった場合、0.5秒出力し、表示と内部カウンターに出力2の数値をプリセットし、次の入力パルスより計測を行います。

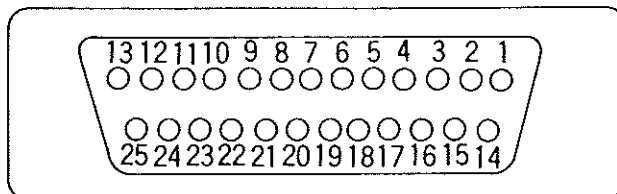


設定が終了したら、必ずリセット動作を行なって下さい。  
出力モードスイッチが“8”“9”“0”の場合は表示6桁目にE(エラー)表示が点滅します。正しい設定をして、リセット動作を行うか電源を再投入して下さい。  
これでCU-610-P2の設定は終わりです。  
(P.19からお読み下さい)。  
Bシリーズは続いて、B、C、D出力の項をお読み下さい。

# 11 BCD出力について (CU-610-Bシリーズのみ)

■CU-610-BシリーズはBCD出力端子付シリーズです。  
以下の説明をお読み下さい。

●BCDコネクタピン配置(本体裏面)



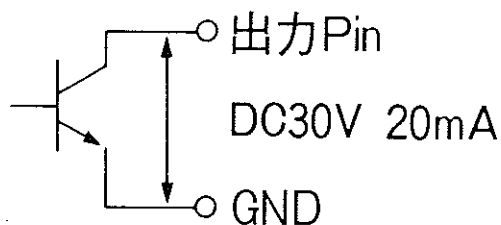
●ピン番号と出力信号

ピン番号	機 能		ピン番号	機 能	
1	GND		14	GND	
2	BCD 出力 コード	X1 (‐表示)	15	GND	
3		X2 (オーバーフロー表示)	16	小 数 点	X10 <sup>-1</sup>
4		X4	17		X10 <sup>-2</sup>
5		X8	18		X10 <sup>-3</sup>
6	GND		19	GND	
7	タイ ミング 信号	T0 (1桁目データ)	20	GND	
8		T1 (2桁目データ)	21	GND	
9		T2 (3桁目データ)	22	GND	
10		T3 (4桁目データ)	23	GND	
11		T4 (5桁目データ)	24	T1 (データ更新中信号)	
12		T5 (6桁目データ)	25	GND	
13	T6 (符号データ)				

●標準仕様

出力形式	オープンコレクター出力
出力動作	出力“H”レベル時 Pin1(GND)と短絡
定 格	DC30V 20mA(MAX)

●出力回路



# BCD出力について (CU-610-Bシリーズのみ)

● BCDデータ ×1、×2、×4、×8、

BCDデータは桁シリアル出力で、データが確定している間、タイミング信号(T0~T6)が“Hi”状態となっています。

● タイミング信号 T0~T6

T0	1桁目(LSD)BCDコード出力タイミング信号
T1	2桁目BCDコード出力タイミング信号
T2	3桁目BCDコード出力タイミング信号
T3	4桁目BCDコード出力タイミング信号
T4	5桁目BCDコード出力タイミング信号
T5	6桁目(MSD)BCDコード出力タイミング信号
T6	“-”表示及び桁オーバー信号の出力タイミング信号

● 符号信号 “-”表示信号、桁オーバー信号

“-”表示信号：マイナス表示を行なっているとき、タイミング信号T6に同期して、BCDデータの×1と同一の場所に出力されます。

桁オーバー信号：オーバーフロー表示燈が点燈しているとき、タイミング信号のT6に同期して、BCDデータの×2と同一場所に出力されます。

● データ更新中信号 (T1)

タイミング信号T0~T6が出ている間出力されます。(約300mS)

# BCD出力について (CU-610-Bシリーズのみ)

● 小数点データ  $\times 10^{-1}$ 、 $\times 10^{-2}$ 、 $\times 10^{-3}$

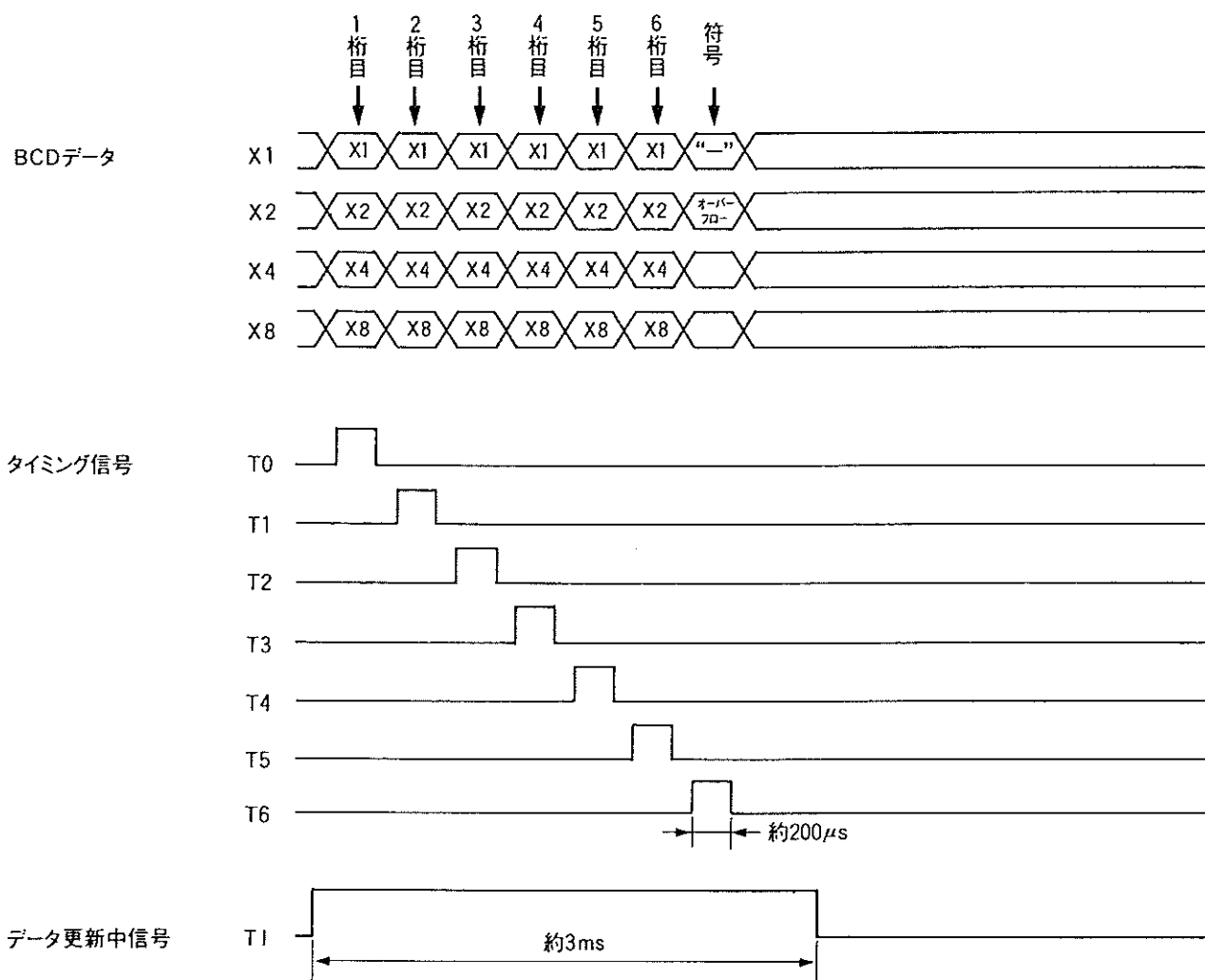
この信号はスタティックで出力され、表示により次の様に出力されます。

表示	小数点位置データ
888888	$1 \times 10^{-1}$ 、 $1 \times 10^{-2}$ 、 $1 \times 10^{-3}$ 全てLo
88888.8	$1 \times 10^{-1}$ のみ "Hi"
8888.88	$1 \times 10^{-2}$ のみ "Hi"
888.888	$1 \times 10^{-3}$ のみ "Hi"

## ご注意

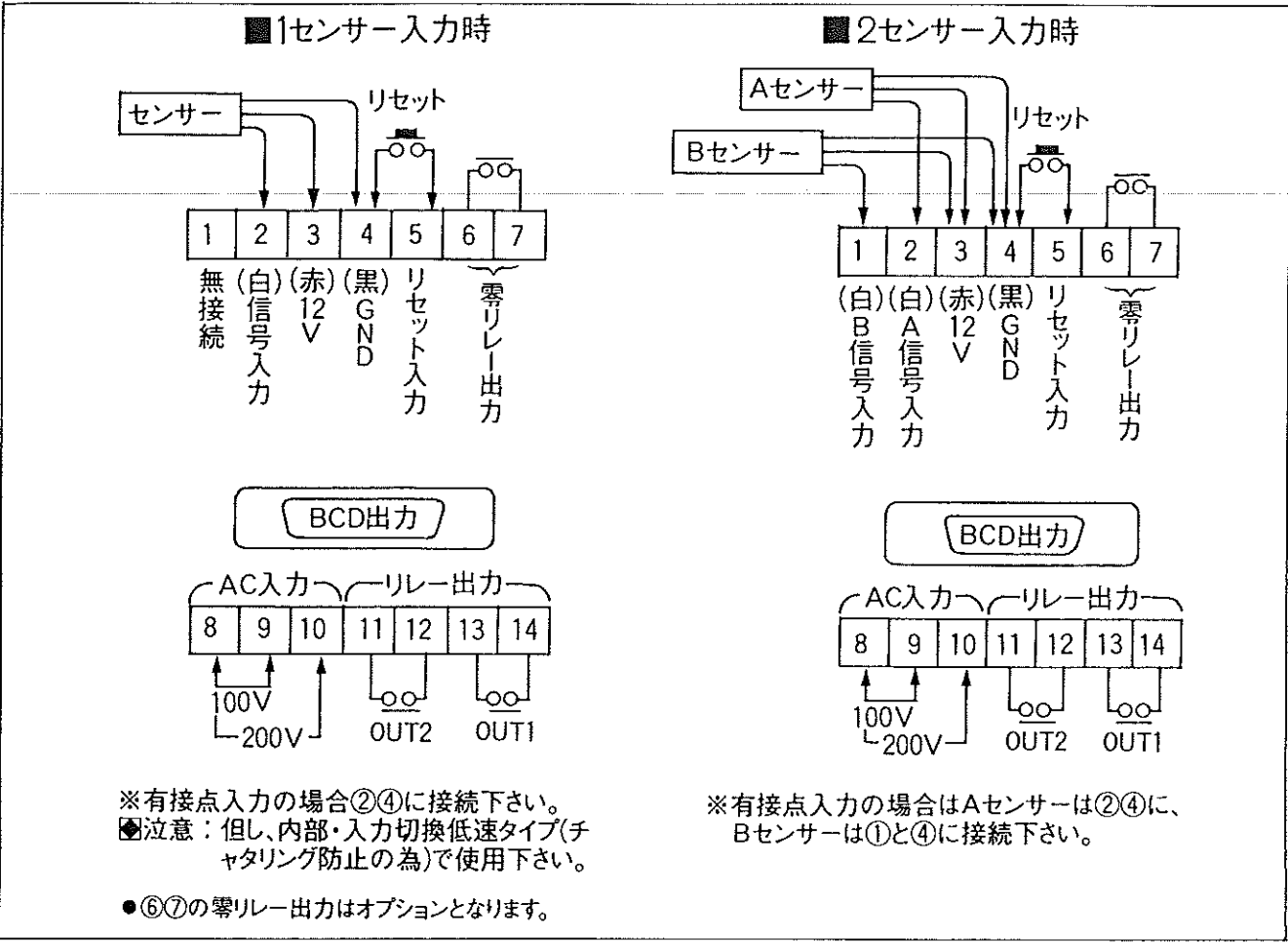
エラー表示の場合BCDデータの出力は全桁"9"のデータを出力します。

## BCD出力タイミングチャート



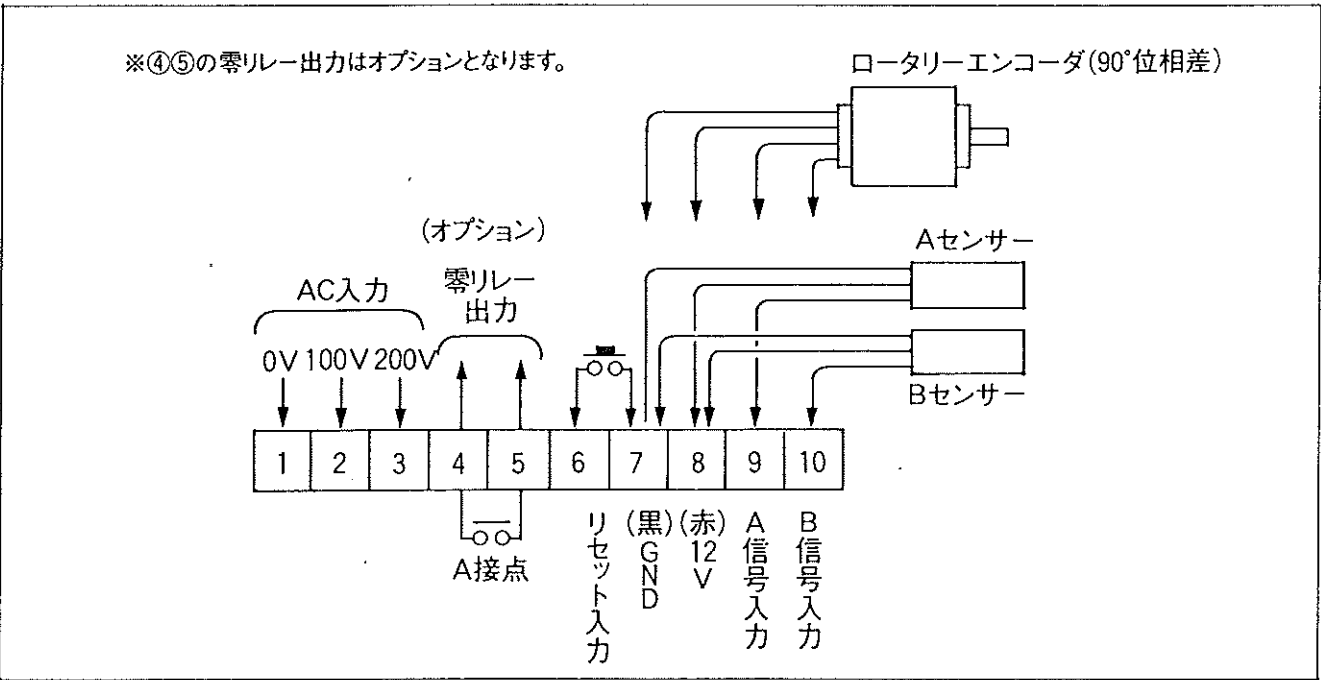
# 12 端子接続図・1

CU-610-B  
CU-610-P2



# 13 端子接続図・2

CU-610



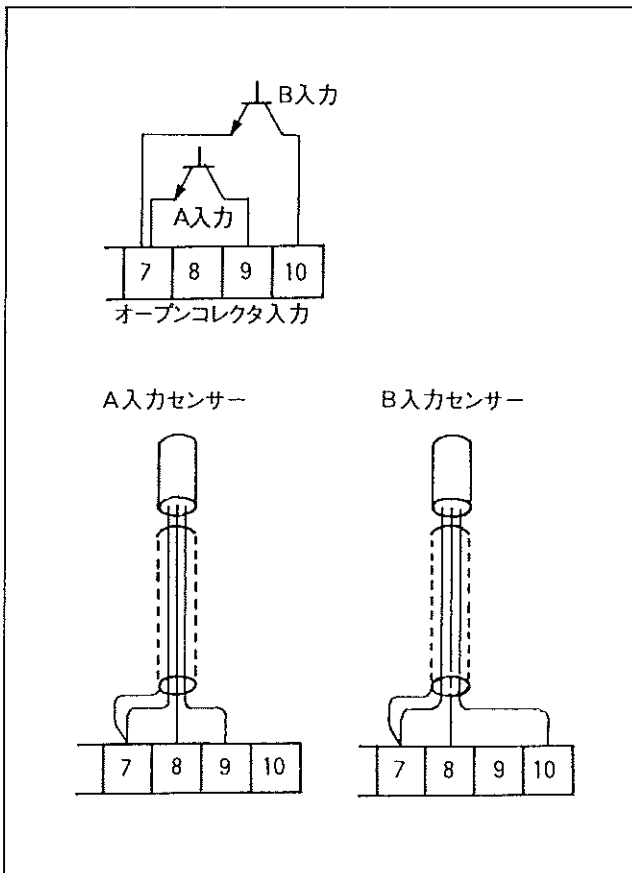
# 14 センサ入力端子について

センサー入力は、フォトカプラにてアイソレーションされています。吸入電流が10mA以上のオープンコレクタタイプのセンサーを御使用下さい。

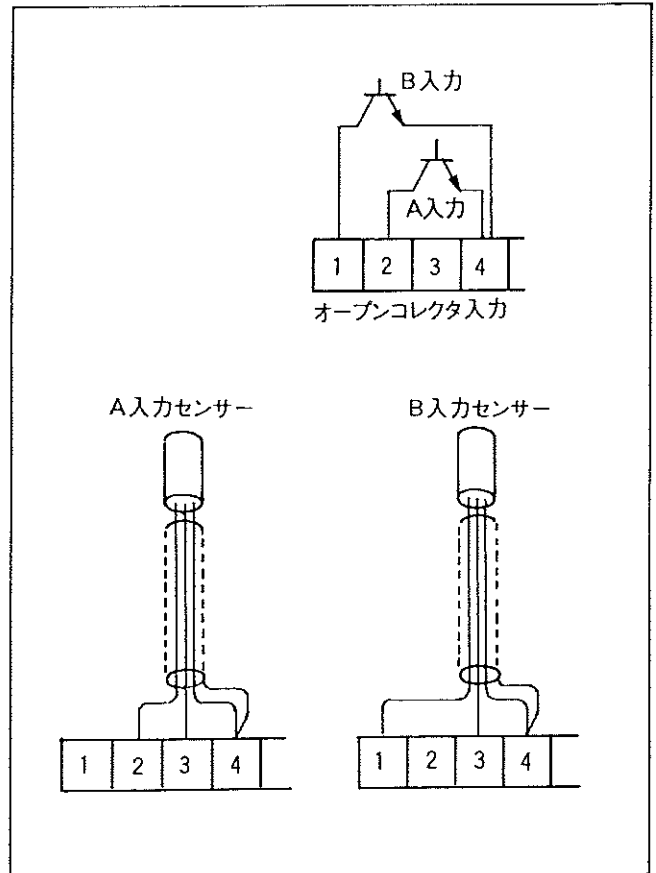
NPN型のオープンコレクタ入力の場合は、エミッタをセンサーGNDに接続して下さい。

センサーケーブルにシールド線を御使用の場合は、シールド線をセンサーGNDに接続して下さい。  
 (センサーGNDは、CU-610-B、CU-610-P2は4番端子。CU-610は7番端子です。)

## ●CU-610 センサ端子



## ●CU-610-B センサ端子 CU-610-P2



オープンコレクタ信号以外の入力信号を御使用になる場合は、メーカー迄御相談下さい。

CU-610シリーズの性能をフルに発揮するためにも専用センサ (別売) を御使用下さい。

## 15 お取り扱い上のご注意

### ●AC電源入力

入力電源電圧AC100VとAC200Vの、入力端子接続を間違えないで下さい。間違えますと本体内部のヒューズが切れたり、トランス、ICが破損しますので御注意下さい。周波数50/60Hzは共用となっています。

### ●センサー電源入力

DC+12VMAX30mAの電源をセンサー(近接スイッチ、光電スイッチ、エンコーダー等)に供給出来ます。+12V30mA非安定ですので負荷により電圧が変わります。尚接続を間違えたり、短絡しますと、センサーやメーター本体のヒューズが切れたり、トランスが破損する場合がありますので、御注意下さい。

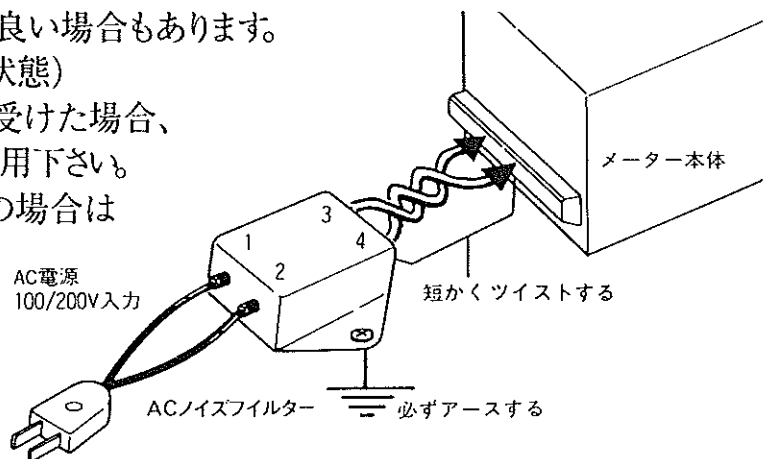
### ●入力信号

標準はオープンコレクター/無電圧接点ですが、有接点入力の場合は内部周波数切換SWをONにして低速入力で使用下さい。特に接点信号等を御使用で、チャタリングが起きた場合は、チャタリング防止回路(CR等)を外部に設けるか、メーカー迄御相談下さい。

### ●ノイズ対策について

ノイズ対策には万全を期しておりますが、万一ノイズの影響が出た場合は次の項に御注意下さい。

- (a)電源入力を動力線などと共用せず、雑音などなく変動の少ないクリーンな電源を別電源から取るようにして下さい。
- (b)センサーコードに3芯シールド線を使用し、ノイズの発生源から出来るだけ離して配線して下さい。
- (c)センサーコードを出来るだけ短くし、動力線やインバーターなどノイズの発生源をさけて、極力雑音を拾わない経路に配管して布施して下さい。
- (d)機械のGNDアースコードには、非常にノイズが多く含まれている場合がありますので、メーターのGNDに接続させない方が良いでしょう。  
(メーターを完全に機械から絶縁状態)
- (e)AC電源ラインよりノイズの影響を受けた場合、  
図の様にACノイズフィルターを御使用下さい。
- (f)特に大きなノイズエリアで御使用の場合は  
別途メーカーに御相談下さい。

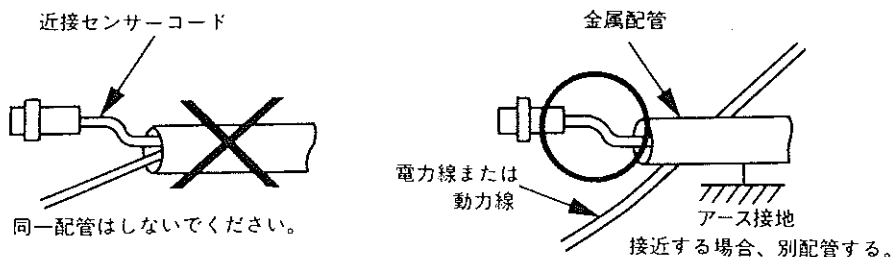


### ご注意

ACノイズフィルターは、別途用意しております。

### ●配線

電力線、動力線が、近接センサーのコードの近くを通るときは、サージや雑音による影響をなくするため、近接センサー、コードは単独配管にしてください。



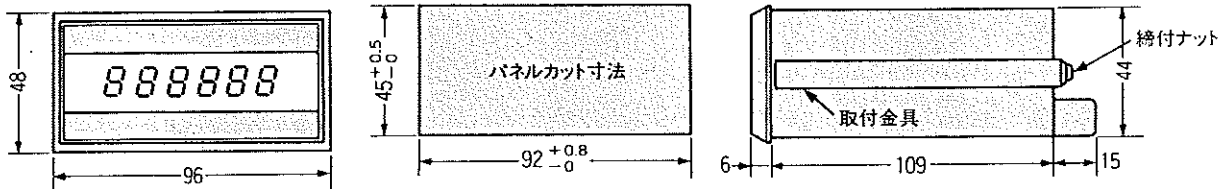
# 仕様

機能	機種	CU-610	CU-610-B (BCD出力付)	CU-610-P2 (プリセットリレー出力付)
表示LED		6桁赤色7セグメントLEDゼロサプレス式(文字高15.24mm)		
極性表示		カウンター表示が"0"よりマイナスに下がった時-1,-2,-3と表示する		
小数点表示		DIPスイッチにより下3桁分任意設定可能		
スケール		1PULSE当り 9999~ $1 \times 10^{-9}$ まで設定可能(演算スイッチとEXPスイッチにより可変)		
入力モード		加算・減算・90°位相差・加減算指令入力・加減算個別入力の5モード		
リレー出力モード				7モードスイッチ切換式
リレー出力設定スイッチ				6桁サムホイールスイッチ 2段、+/-極性切換えスイッチ
リレー出力表示灯				赤色LEDランプ (OUT1, OUT2)
リレー出力容量				2段設定、1a接点 AC250V(DC30V) 1A MAX (抵抗負荷)
"0"表示リレー出力	(※オプション)	表示が"0"になったとき約0.5秒出力 1a接点 AC250V(DC30V) 1A MAX (抵抗負荷)		
BCDコード信号			デジットシリアル出力 (6桁分)	(※オプション) CU-610-P2-B
BCDコード信号レベル			オープンコレクタ出力 (MAX 20mA DC+30V)	(※オプション)
センサー入力周波数		単相入力 MAX 10KHz (90°位相差入力 3KHz MAX)		
入力信号レベル		無電圧接点 又は、オープンコレクタ入力 (MIN 10mA)		
センサー供給電源		DC+12V 30mA 非安定		
停電補償		バッテリーバックアップ約3週間(※電源リセット使用時は無し)		
使用温度範囲		0~50℃、45~80%RH (但し結露しない事)		
電源電圧		AC100/200V±10% (50/60Hz共用)		
消費電力		約3.5VA	約5.5VA	約5.5VA
外形		W96×H48×D130mm	W98×H98×D169mm	W98×H98×D169mm

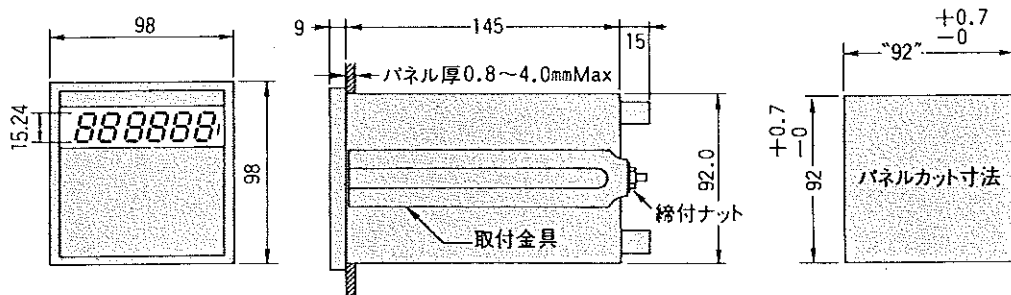
■プリセット2段出力とBCD出力の複合出力タイプCU-610-P2-Bも受け承ります。

# 外形寸法

## ■CU-610



## ■CU-610-B・CU-610-P2・CU-610-P2-B



※改良のため、仕様等は予告なく変更することがありますので御了承下さい。